

別宮
お白石持行事



月夜見宮

しつておきたい神宮別宮の「月夜見宮」
外宮からまっすぐ「月夜見宮」

月夜見宮は、外宮のご近所にある別宮です。農業にはとても大事な月(旧暦)の神様。食を司る外宮の豊受大神と密接な関係です。

外宮別宮

「月夜見宮」

(伊勢市宮後)

外宮から参道つながる別宮

伊勢市駅前から500メートルほどの距離にある月夜見宮。地元では「つきよみさん」と呼ばれ、親しまれているお宮です。

県道沿いで街の中心地、鳥居前には厚生小学校があり、子どもたちの賑やかな声が聴こえてきます。しかし鳥居をくぐり、神域に入ると



杜の間から太陽の光が差し込み、街の中のお宮とは思えない、清々しさを感じられます。外宮から近いこともあり、近年、遠方からの参拝者も増えているようです。

外宮からは、ほぼ直線、徒歩で5分ほど。お社には、月夜見尊(つきよみのみこと)と月夜見尊荒御魂(つきよみのみこと)のあらみたま(あらいみたま)が一つの社殿に、合わせてまつりされています。神域内はお社をぐるりと囲むように大きな木々がおおい茂り、さらにその周りは、お堀に囲まれて守られています。

神路通りに伝わる神話

ご祭神の月夜見尊は、天照大御神の弟神。中村町にある内宮別宮の月読宮とおなじ神さまですが、外宮の別宮では「月夜見」の文字が用いられています。天照大御神に次ぐ「神徳」があり、その名の通り、月の出る「夜」を治める神様です。

外宮の神さまは豊受大御神(とようけのおおみかみ)。天照大御神の食を司る神としてこの地に祀られ、農業神としても代表的な神さまです。農業は、月の暦(太陰暦)にそって行うもの、つきよみさんと外宮さんとの関係は深いようです。

外宮の北御門(きたみかど)から月夜見宮までの、まっすぐな道は「神が通る道」とされ、「神路通り(かみじどおり)」と呼ばれています。こちらには、月夜見尊が、夜な夜な外宮の豊受大神の



ところへ通う、神さまの通い道であった、という神話が残っています。その伝説では、月夜見宮の入口正面の石垣の石のひつが、夜になると白馬に変身して、入口で神さまを待ち、そして、月夜見尊を乗せた馬が神路通りを外宮へと通ります。その馬にぶつからないように、ここを歩く人は夜はできない。この路を通らないようにして、どうしても用がある時は、道の端を通るように気を付けていた、と語り継がれています。

この通りには、今も歴史を感じる風情のある町並みを残そうと案内板や道路舗装などが工夫され、地域の皆さんに大切にされているのがわかります。月夜見宮へ参拝の機会には、ぜひ歩いてみてください。

この道以外でも参道の中央は神様が通る神聖なところ、といわれています。

別宮のお白石持 日程

開催日程	※雨天決行	
	お白石持行事	遷御
月夜見宮	平成27年 2月22日(日) 実施奉献団/宮後	平成27年 2月28日(土)

※「遷御」は、神様が新宮へお遷りされる儀が執り行われる日です。その前後日に遷宮の諸祭が行われます。参拝停止となる場合がありますのでご注意ください。



●奉献参加について
神域内への奉献の際は、団の指示に従い、服装を整え、静粛にご奉献ください。お白石奉献は、実施される奉献団以外の一般の方は参加できません。ぜひ沿道にてご観覧ください。

月夜見宮
お白石持行事における
交通規制

平成27年
2月22日(日)

奉曳出発予定時間 10:00



雨天決行

●参加者用の駐車場はありません。外宮周辺は駐車場が限られておりますので、公共交通機関等をご利用ください。



宮後町奉献団「お白石持行事」外宮奉曳のようす (平成25年)